

挨拶：大野元裕（埼玉県知事） ※ビデオメッセージ

皆さん、こんにちは。埼玉県知事の大野元裕です。

始めに、元日に発生した「令和六年能登半島地震」でお亡くなりになられた方々に心からお悔やみ申し上げるとともに、被災者の皆様にお見舞い申し上げます。一刻も早く、被災地域の皆様の日常が取り戻せるよう、本県としても必要な支援をしまいたいと考えております。

さて、労働者協同組合周知フォーラム東日本ブロックが、ここ埼玉県で開催されるにあたり、開催県を代表してご挨拶申し上げます。

本日はオンラインを含め、多くの皆様の御参加を頂き厚くお礼申し上げます。

労働者協同組合は、働く人自らが出資し、自らの意見を反映した運営を行う新たな働き方であり、介護、福祉、地域づくりなどの幅広い分野で、地域のニーズに応じた多様な事業の創出につながる仕組みとして注目されています。

一昨年10月1日の法施行以来、全国で70に近い数の法人が設立されており、例えば高齢者世帯の掃除や買い物を家事代行サービスとして事業化するなど、地域の人々が意見を出し合って地域の課題を解決する取組が次々に生まれていると伺っています。

県内でもこれまでに3法人が設立され、子育てひろばや障害者のグループホーム開設に向けて取り組んでいます。

こうした動きを後押しするため、県では説明会や実践セミナー、個別相談会などにより制度の周知に努めているほか、法人設立に関する助言や講師派遣を行っています。これらの取組の詳細については、この後、本県職員から御紹介いたします。

私の目指す埼玉県の将来像は、あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる「日本一暮らしやすい埼玉」です。超少子高齢化の進展に伴い、働き手が減少する中、労働者協同組合という制度により、地域の人々が身近な課題に主体的に取り組み、活躍することは大変重要であると考えます。

このフォーラムを通じて、労働者協同組合について皆様の理解がより一層深まり、この働き方が地域に、そして全国に根付いていくことを大いに期待しています。

結びに、本日、御参加の皆様のご今後ますますの御活躍と御健勝を祈念いたしまして、私からの挨拶の言葉とさせていただきます。